

事業所名

スマイルシード潮見町

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

14日

法人（事業所）理念	保護者と共に考え悩みながら子どもの成長を願い「家庭でも学校でも施設でも笑顔の絶えない子どもに成長して欲しい」そんな思いを抱きながら事業所名をスマイルシード（笑顔の種）と名付けました。 利用者が可能な限り、その地域における生活が継続できることを念頭に置いて、農業体験や創作活動等の活動支援を通して、日常生活における基本的動作の習得、集団生活における適応能力向上を目指します。 職員一同、心を込めて、放課後や学校休業日当での、利用者の豊かな成長をサポートさせていただきます。				
支援方針	本人の個性や特性を大切にしながらスマイルプログラム、ハートプログラム、運動遊び、個別課題、食農育、課外活動を通して、日頃経験することができない体験を通し、『できた』の喜び成功体験を積み重ねがらひとり一人に合った支援を行います。				
営業時間	平日 学校休業日	10時 0分から	19時 0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	*健康状態の維持、改善*規則正しい生活習慣、生活リズムの確立*基本的な生活スキルの習得 : 当事業所でのプログラム～食農育（畑で育てた野菜の成長確認、管理、収穫、調理）、時間や場面に応じた行動の切り替え、構造化を意識した視覚的提示、声かけ			
	運動・感覚	*姿勢の保持と基本的運動機能、動作の向上*バランス感覚、力の強弱、距離感等の発達*身体の移動機能の向上*保有する感覚の活用*感覚の特性（感覚過敏・鈍麻）への対応 : 当事業所でのプログラム～専門職（理学療法士）による協調運動やバランス練習、運動療育（運動遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、水遊びなど）、視覚・聴覚・触覚、嗅覚を刺激する療育（イントロクイズ、スライム、食事作りなど）、感覚過敏な生徒へ配慮した環境設定			
	認知・行動	*認知の特性についての理解と対応*空間、時間、数、物の形や大きさ、色、重さなどの概念形成の習得*行動障害への予防、対応 : 当事業所でのプログラム～ブロックや粘土など立体の造形物を使った制作、専門職（理学療法士）によるビジョントレーニング・デュアルタスク（2重課題）			
	言語 コミュニケーション	*適切なコミュニケーションスキルの向上*言語の理解、受容と表出*コミュニケーション手段の選択と活用*状況に応じたコミュニケーションの活用*読み書きの能力向上 : 当事業所でのプログラム～カード遊びを用いたコミュニケーション、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、伝言ゲームなど言葉を用いたゲーム			
	人間関係 社会性	*アタッチメントの形成と安定*情緒の安定*適切な人との関わり方（人間関係）の構築*活動、遊びを通して社会性の発達*自己の行動理解と調整*マナー、ルールの理解と習得 : 当事業所でのプログラム～運動遊びやレク活動での集団遊び、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、お楽しみ会（誕生会）での他己紹介などで他生徒のことを知る活動			
家族支援	*家族からの相談、支援に対する適切な助言など*アタッチメントの安定 *障がい特性への配慮を行った家庭環境の相談、助言、整備	移行支援	*放課後児童クラブ等を併用している場合に併用利用先との連携、情報共有*進級、進学を見据えた将来的な移行への準備*地域との繋がり の取り組み（地域住民との交流等）		
地域支援・地域連携	*学校、医療機関などとの情報共有や連携や調整、支援方法や環境整備における相談援助	職員の質の向上	*事業所内研修（感染症、虐待防止、身体拘束、ハラスメントなど）、法定研修（虐待防止・権利擁護など）、専門職研修の受講 *5領域における療育プログラムの確認		
主な行事等	*お花見、母の日、父の日、七夕、終戦記念（平和学習）水遊び（プール、川遊び、海水浴）、ハロウィン、クリスマス、節分、ひな祭り、グループ事業所との合同活動（ソーメン流し・BBQ・ミニ運動会・夏祭り・餅つき）、地域交流（レクリエーションなど）、防災・避難訓練（起震車体験）、卒所式など				